

ID:		(ラムシルマブ単独) 療法				施行日	クール
患者氏名	殿					入院/外来	入力日
年齢 性別							

疾患名		開始日	年	月	日	
クール	2週毎	診療科				
	備考	医師名				

適応基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input checked="" type="checkbox"/> 2nd Line <input checked="" type="checkbox"/> 3rd Line以降	告知の有無		P S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済
	<input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input checked="" type="checkbox"/> 進行 <input checked="" type="checkbox"/> 再発	身長	cm	体重	kg	体表面積

薬品名	単位	薬品名	単位	外来化療加算	A	B	対象外
ラムシルマブ [®] 8 [サイラムサ [®]]	<input checked="" type="checkbox"/> mg/kg <input type="checkbox"/> mg/body		<input type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

重要 B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

HBs抗原
 HBs抗体
 HBc抗体

休薬・減量・中止	副作用		処置
	高血圧	症候性のグレード2、又はグレード3以上	降圧剤による治療を行い、血圧がコントロールできるようになるまで休薬 降圧剤による治療を行ってもコントロールできない場合には投与中止
	蛋白尿	1日尿蛋白量2g以上	初回発現時: 1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休薬 再開する場合 → 6mg/kg に減量 2回目以降の発現時: 1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休薬 再開する場合 → 5mg/kg に減量
		1日尿蛋白量3g以上、又はネフローゼ症候群を発現	投与中止

レジメン内容

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
①	レスタミンコウ錠 (10mg)	5錠		ラムシルマブ投与30分前までに内服
②	ラムシルマブ [®] 注 [サイラムサ [®]]	<input style="border: 2px solid black;" type="text"/> mg	D.I.V	1時間
	生食液 (250mL)	250mL		
③	生食液 (100mL)	100mL	D.I.V	経過観察 (1時間)

注意事項など

看護師の方々へ; ラムシルマブ(サイラムサ注)投与の際は、必ず PVC点滴フリーセット、フィルター を使用して下さい。

ボトル③はラムシルマブ投与2回目まで必須とする。
(infusion reaction確認のため: 3回目以降は不要)

【備考欄】

	1Kur目	2Kur目		確認者	監査者	
Day	1	15	29	43	57
ラムシルマブ [®]	↓	↓	↓	↓	↓